
才能というパラメータ

まめ太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

才能というパラメータ

【Nコード】

N5423U

【作者名】

まめ太

【あらすじ】

才能と言っても色々ある。

才能というのは、たぶん、誰でも一つや二つは持っている。ただ、その才能が役に立つ才能か、まったくの役立たずかは解からない。

また、本人の希望に合った才能かどうかも不明。

例えば作家希望の人に漏れなく作文に関する才能があるかと言えば、そんなワケはない。関連能力が皆無な人もいる。料理を無駄なくソツなく作り上げる能力に長けているとか、暗算にかけては世界一早いとか、そういった、作文とは無関係な才能を貰ってしまった場合も多々あるだろう。

本人の希望と才能がピタリとマッチしている人は、やっぱり少ないわけで、それが才能があるかないという話になるのだろう。才能がない人など居ない、マッチしてないだけだ。

そんで、申し訳ないのだが、才能あると無いでは雲泥の違いが出てしまうのも真理だ。だからこそその才能というべきだから。世の中、どう足掻いたって平等には出来ていない。

そういうワケだから本来、学校教育というのは、将来設計がまだな子供たちの為に満遍なくちよつとずつ色んな事を齧ってもらい、自分の才能にマッチした道を選んでもらいやすくする為にあっただろうと思う。色々あって形骸化してしまったのだとしても。

さて、作家に関する才能についてだけでも。

例えばアスリート。ランナーには二種類居て、短距離向けと長距離向けの才能がある。それはもう、筋肉の組成から違うという。瞬発力に長けた筋肉に恵まれたランナーは短距離で才能を発揮し、持久力に優れたランナーはマラソンに向く、と。

こないだのエッセイで、『妖精な妹は夜だけ魔王』というお題では書く気がおきないと言ったが、ここに、わたしに欠けている才能が

何かを読み解くヒントがある。

少なくとも、作家でメシ食おうと思ってるなら、無視出来ない才能だ。

つまり、「読者受けする一文を見分ける能力」というヤツだ。キャッチコピーを作る能力は、作家になってしまった後ならそんなに重要ではなくなる。編集さんにその能力があればいいからね。

けれど、作家になる前の段階で、これがあると無いではかなり道のりが違ってくるだろう。また、『円城寺』の中にもあったが、普通のありきたりな物語を書くことが一番難しいという意味は、そのままズバリで、何の変哲もない物語ほど、才能やセンスがモノを言い、作家の力量が如実に現れてしまうからだろうと思う。

わたしは、万人に受ける一文に反応しない。

この一文は、冒頭の一文という意味でもある。

だからわたしは冒頭を書くのが下手である。キャッチコピーに必要な才能がないからだ。最初の一文で読者を惹きつける事が出来ないが、これが無いと言って悲観する必要はない。もっとも重要な才能という訳ではないし、作家に必要なパラメータは少なくとも一つや二つでは済まない。この能力の有無でスベテが決まるわけではない。発想力とか構成力とか、文章力一つ取っても「魅力的な一文を書ける能力」と「魅力的な文章の塊を作れる能力」は別モノだから、それこそ必要とされる才能は多岐に渡る。

関連能力を多く備えた人が、優れた作家になる。

これは、だからパラメータの問題なのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5423u/>

才能というパラメータ

2011年7月5日21時50分発行